

感 謝 の 辞

24年間にわたり東北学院大学でキリスト教教育とご研究、宗教活動に献身された佐々木哲夫先生はこの三月末をもって総合人文学科の教員を定年退職されます。今後は院長職に専念されるということですので、これまでのお働きに感謝すると共に、今後も引き続き総合人文学科を見守り、時に応じてご助言を頂けることを嬉しく思います。

佐々木先生は1972年3月に東北大学工学部精密工学科を卒業され、同大学院工学研究科精密工学専攻修士課程を修了した後、エンジニアとして日本精工株式会社に勤務という異色の経歴を経て、その後伝道者の道に進まれました。1978年に聖書神学舎を卒業後にアメリカに留学してTrinity Evangelical Divinity School, The University of Chicago, Lutheran School of Theology at Chicagoで旧約学の研鑽を積み、1993年に東北学院大学に奉職されました。1999年にはアジア神学大学院日本校より神学博士号を授与されています。

ご研究領域は旧約聖書学で、聖書釈義に関わる多くの学術論文や聖書注解、大学生のための教科書を公刊しておられます。昨年退任されたマーチー デイビッド先生と共同で執筆されたキリスト教の教科書『はじめて学ぶキリスト教』（教文館、2002年）でキリスト教を学んだ学生、卒業生も多いと思います。東北学院大学には工学部や人間科学科もありますので、科学的見方や論理的説明を駆使したこの教科書は、理系の学生にとってもキリスト教への優れた導入となっています。

代表的著書は2000年に教文館から刊行された『旧約聖書と戦争』で、その翌年には学術図書出版社から英語版（*The Concept of War in the Book of Judges : A Strategic Evaluation of Wars of Gideon, Deborah, Samson, and Abimelech*）が公刊されました。『東北学院大学 キリスト教文化研究所紀要』の活動記録を見ると、2004年刊行の第22号に学内研究フォーラムの記録が収録されています。私が着任する以前のことで、*「新しい世紀における世界平和」*という非常に興味深いテーマのもとで、マーチー デイビッド先生や佐藤司郎先生ら4人の発題者と共に、佐々木先生も「平和・シャローム・聖戦（ジハード）」のテーマで発題されています。当時のアメリカと中東世界との緊張状況の中で時代の要請に応え、聖書学の研究成果がいかにか世界の平和に貢献しうるかを示す重要な機会であったと思います。

佐々木先生が東北学院大学にご着任して以降の経歴を見ると、東北学院大学の様々な部

門の働きを着実に担いながら、キリスト教主義に基づく建学の精神を堅持されたことが分かります。とりわけ宗教部長としての18年間にわたるお働きには非常なご苦勞があったことでしょう。宗教部長としての長年のお働きと共に私の印象に残っているのは、佐々木先生が総合人文学科に移籍された際に、新学科の立ち上げのために尽力されたことです。伝道者の育成にもっぱら力を注いできた旧キリスト教学科が、時代の要請に応えるべく、人文学の総合的教育を担うことへと方向転換することは容易ではありませんでした。当時の文学部長であった遠藤健一先生のご支援を得て、新学科の改組のために仙台放送で告知の宣伝映像を制作し、その準備となる公開講演会やシンポジウム等の準備をして頂いたお蔭で、無事に改組を実現することが出来ました。

佐々木先生には、これまで東北学院が大切にしてきたものを堅持しながら、その都度どのように時代の要請に応じていくかを身をもって教えて頂いたことに心から感謝を覚えますと共に、今後のご健勝をお祈りしています。

(出村みや子 記)